

○自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進めるグリーンインフラを取り入れた流域治水に取り組んでいく。

○流域の風土・歴史・文化を踏まえ、河川の有する多様な機能を十分に発揮し、災害発生の防止、河川の利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備・保全により、グリーンインフラの取組を推進する。

流域治水の取組



グリーンインフラの取組

ダムの事前放流

一ツ瀬ダム

土砂流出防止(堰堤)

土砂流出防止(法面)

河川監視カメラ設置・情報提供

立地適正化計画

一ツ瀬川
市街地
市街地調整区域
市街地浸水区域
防災対策推進区域(洪水・津波)
防災対策推進区域(津波)
防災対策推進区域(洪水)

森林整備
⇔ 生息環境の創出

ほ場整備
⇔ 生息環境の創出

例)三財川(河跡湖)

貯留 ⇔ 湿地等の保全

例)川南湿原植物群落

河道掘削 ⇔ 多自然川づくり

例)一ツ瀬川

① 治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出 (瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)
- ・河川景観の保全・創出

② 自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・湿地等の貴重な自然環境の保全
- ・生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出

③ 魅力ある水辺空間・賑わい空間創出

- ・川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持

④ 自然環境が有する多様な機能活用の取組

- ・水辺空間のレジャー等の利用
- ・小中学生や任意団体等による環境学習



※記載している流域治水の内容は、ごく一部のみである。詳細は各プロジェクトを確認してください。